# No.3060

2023-2024年度

川口健太郎 会 長 木本 幸 韓 隆昭 クラブ広報小委員長 井上 修平





第2640地区

毎週木曜日 12:30 例会日 例会場 紀州有田商工会議所6F 〒649-0304

有田市箕島33-1 紀州有田商工会議所2F 有田ロータリークラブ Tel (0737) 82-3128 Fax (0737) 82-1020

昭和34年6月15日 ホームページ http://www.aridarc.jp office@aridarc.jp

**~ 四つのテスト** 言行はこれに照らしてから

#### 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか





世界に希望を生み出そう

# 本日のプログラム

令和5年12月7日 第3061回

- 外部卓話: 辻本 智至氏(和歌山県保健福祉部 福祉保健政策局 こども未来課子育て支援班 主査)
- ソング:「君が代」「奉仕の理想」

# 前回の報告(第3060回例会)

**●開催日** 令和5年11月30日(木)

点 鐘 〔川口会長〕

# ニコニコ箱の報告 (松村SAA)

川口君:本日の会員卓話、中元委員長、橋爪委員長、宜 しくお願い致します。また、本日の卓話でも65周年事業 に向けて一言述べさせて頂きます。

木本君:中元先生、橋爪誠治君、本日の卓話宜しくお願 い致します。

石垣(洋)君:中元耕一郎君、橋爪誠治君、卓話楽しみに しています。

上野山(捷)君:中元耕一郎様、橋爪誠治様、本日の卓 話よろしくお願い致します。

橋爪(正)君:中元さん、卓話楽しみです。そして色々とあ りがとうございました。だいぶん良くなりました。

宮井君:中元先生、本日の卓話よろしくお願いします。

岩本君:中元先生、本日は卓話楽しみにしています。

中元君:本日卓話させていただきます。よろしくお願いい たします。

橋爪(誠)君:周年事業の現状報告させて頂きます。中元 先生、卓話準備ご苦労さまです。勉強させて頂きます。

菅原様:2週休んで1週休会でしたので久しぶりの例会で す。中元先生、橋爪君、卓話楽しみです。よろしくお願 い致します。

山下君:本日の卓話「側弯症について」興味深いテーマ です。中元様、よろしくお願いします。

松村君:中元耕一郎様、橋爪誠治様、卓話楽しみにして います。

# 出席報告

[例会運営小委員会 上野山(捷)委員]

2023-2024年度クラブ方針

# 「希望は私たちの原動力!」

~地域に明るい活力を広げよう!~



---- 次回のお知らせ -

令和5年12月14日 第3062回

年次総会

上期決算報告・会計監査、次年度理事・役員選出

ソング:「我等の生業」

会員数25名 (出席規定免除会員9名) 出席会員13名 (出席規定免除会員6名)

# 会長の時間 [川口会長]

## $\lceil RLI \rfloor$

皆さんこんにちは。本日も例会にご参 加頂きありがとうございます。そして中元 委員長、橋爪委員長、後ほど卓話を宜し くお願い致します。

さて、本日のテーマは「RLI」です。先日 ですが2620地区が主催のRLI(ロータ リー・リーダシップ・インスティテュート)



ロータリーリーダーシップ研究会にウェブで参加して参りま した。本年度も当地区のRLI委員会に引き続き携わらせて 頂いており、その勉強としての受講がメインであります。 ロータリーの学びの機会は幅広く、そして深く学べば学ぶ ほど禅問答のようであり、少しずつ自分の身になっている と感じています。これまでは、経営者でありながらロータ リーでは受け身でありそれが当然のように思っていました。 しかしながら最初に述べさせて頂いた通り、ここは自身で 掴み行かなければ、会費や時間が勿体ないと感じます。よ くRLIでも質問をよく受けますが、ロータリークラブとは何で すか?との問いに私は人生の大学と答えます。それは沢 山のカリキュラムを選択出来、そこで共に学ぶ仲間は、出 会うと、おい!やあ!と言えその方の人となりが見えると、 それは公私ともに信頼が出来ます。その関係性には若 い、もう年だしは関係なく、ロータリー歴も関係ありません。 同じロータリアンであることを肌で感じると、楽しくなるもの です。

そして学びには時間や労力が当然必要でありますが、あ る一定を超えると視野が変わります。それは個人によって

さまざまでありますが、このRLIは受講側で終わらずファシリテーター(リード役)が実は面倒くさくて一番為になります。一度ダマされたと思って飛び込んでみませんか? RIはトレーニング型からラーニング型に移行を推奨しています。

# 幹事報告〔木本幹事〕

- 1.地区より
- ・地区大会参加への礼状が届いてます。
- ・地区大会・選挙人会議結果の報告が 届いてます。第6回定例理事役員会に て報告させていただきます。
- ・2024学年度米山記念奨学生の世話クラブとカウンセラーのお引き受けにつ
  - いてのお願いが届いてます。1月14日までに返事が要りますので12月理事会に諮りたいと思います。
- ・2023-24年度 地区内全会員対象"モットー"募集事業 の案内が届いてます。
- 後方掲示板にて閲覧して下さい。興味のある方は事務 局にお問い合わせ願います。
- 2.田辺東ロータリークラブから週報が届いてます。回覧します。
- 3.各クラブの例会変更は後方の掲示板にて閲覧願います。

## 委員会報告

※R財団.米山記念奨学委員会[中元委員長]

木本隆昭君より米山特別寄付、財団特別寄付、ポリオ 寄付をいただきました。多額のご献金ありがとうございま した。

※クラブ管理運営委員会[橋爪(誠)委員]

12月の例会役割

例会の準備 岩本道弘君

例会受付 石垣洋介君、手島政嘉君

ニコニコ係橋爪誠治君出席係岩本道弘君友の発表中元耕一郎君写真担当児嶋正人君

# 卓 話



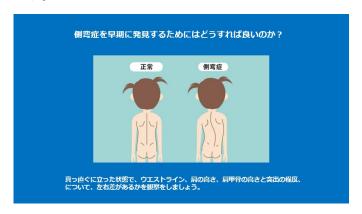
会員 中元 耕一郎 君

# 「側弯症について」

側弯症とは、脊椎が左右に弯曲した状態で、脊椎の捻れも同時に伴います。通常、小児期~思春期にみられる 脊柱変形を指します。左右の肩の高さの違い、肩甲骨の 突出、腰の高さの非対称、胸郭の変形、肋骨や腰部の 隆起(前かがみをした姿勢で前からや後ろから背中をみた場合)、などの変形を生じます。側弯が進行すると、腰背部痛や心肺機能の低下をきたすことがあります。また、側弯が残った状態で中高年~高齢になった場合には、腰背部の痛みや心肺機能の低下だけではなく、逆流性食道炎や転倒のリスクも高まります。

原因不明の側弯を特発性側弯症といい、全側弯症の 80~85%を占め、女子に多くみられます。そのほか、脊柱 の先天的な異常による側弯を先天性側弯症、神経や筋 の異常による側弯を症候性側弯症といいます。それらの 日本での発生頻度は数%程度です。

側弯症は、脊柱の弯曲が進行してしまう前、できるだけ 早期に診断して、治療を開始することが大切です。治療 は側弯の原因や程度、年齢などによって異なります。特 発性側弯症で程度が軽い場合には、レントゲン検査など でチェックをしながら経過観察をしますが、進行する場合 には装具治療を行います。脊柱の成長期である思春期 に悪化する場合が多く、装具療法にもかかわらず重度に 進行する場合は手術による矯正が必要になる場合があり ます。







会員 橋爪 誠治 君

「65周年記念奉仕事業の進捗報告」

我々の例会場から見える完成間近となった中学校、来 年の春から有田市の中学校が統合し有和中学校として 新しいスタートが切られます。

有田ロータリークラブの本年度川口会長のクラブター ゲットは「希望は私たちの原動力!」〜地域に明るい活力を広げよう!〜であります。

生徒の無限の可能性に後押しできるインパクトある講演会の開催を企画し、まちづくりの根幹ともいえる「教育」の重要性にスポットライトを照らしたいと考えています。

周年事業実行委員会より、現状の企画の進行状況を会員皆様にご報告させて頂きます。

令和6年4月17日に有和中学校の開校式典を実施されます。そのタイミングで有田ロータリークラブの周年事業としてスペシャル講演者を呼んでもらいたい旨のお願いが、有田市教育委員会よりなされております。

現状の候補者は、栗山英樹氏(元日本代表監督監督) と池上彰氏(ジャーナリスト)です。

出演依頼の調整入っていますが、双方とも12月の返事 待ちのようです。12月の時点で出演確定を頂ける講演者 が決定となります。

また、令和6年1月25日(木曜日)に新校舎で移動例会(ローテンションデー)の開催の調整もしております。

今後も、委員会で動きがありましたら会員皆様にご報告 させていただきます。



有田ロータリークラブ 2023-24年度 会長 川口健太郎

「有田ロータリークラブ

# 創立65周年記念奉仕プロジェクトへの想い」

私たち有田ロータリークラブは1959年6月15日、有田の地において設立しました。これまで65年会員企業は世の中に役立つ仕事を念頭に、倫理観を持った職業奉仕の実践と会員同士の友情を深め、地域への社会的取組も行い明るい未来に進んでいくであろうと希望を胸に活動して参りました。

しかしながら昨今の世の中はどうでしょうか?世界は互いの正義を振りかざし分断や紛争まで起こる始末、経済を先行させるあまり自然環境の悪化は止まらず、人間の欲望は満足を知りません。また有田地域においては少子高齢化が進む一方であり、バブル経済崩壊から長く続いた景気の低迷は日本全体が疲弊し、私たちにも希望の糸口が見いだせない感が否めません。そのような中、2019年世界に蔓延したコロナウイルス感染症は人々の身体と心に大きな影響をもたらしました。この世に生を受けまだ十数年の子どもたちの目に映る世界はどのようなものか、将来に希望を見いだせるのか不安が募るばかりであります。

そのような世相ではありますが、私たち有田ロータリーク

ラブは65周年を迎えるとともに和歌山県有田市に新たな中学校が2024年4月より正式に開校されます。その名は有田市立有和中学校であります。有田市の4つの中学校が一つとなり、建物の設計には国立競技場等数々の著名な建物を設計された隈研吾氏による学び舎が完成されています。この新たな出発と、私どもの長年の活動を祝して、子どもたちの心に希望の火を灯す講演会を開催したく計画を進めています。

考えて見て下さい。彼らは生まれて十数年、先ほどより 述べさせて頂いた通り厳しい世情が当たり前であり、かつ コロナ禍での自粛が続き、その上これまで通い慣れた学 校も少子化による将来を考えての合併ではありますが、 彼には維持や縮小と映っているのではないでしょうか? そのような中を過ごしていると、いつの間にか望まないこ とや安定感と言う名のチャレンジすることがリスクという捉 え方が常識的と考えられても仕方ありません。しかしその 考えであれば希望という文字は、どこにも生まれてきませ ん。

今回の講演会では、祝すことと希望を生み出すことの2 つの意味を持ち合わせています。彼らが希望を持ち前に 進む、後押しとなることを切望し彼らに希望が見いだせ れば、どこに居ようともこの有田(故郷)に必ず誇り持ち次 の世代に良い影響が生まれ、地域に新たな息吹をもたら すと私は想像します。そして本事業を大切したい想いを 長々と綴らせて頂きました。ぜひとも希望を一緒に創りま しょう。宜しくお願い申し上げます。

2023-24年度 有田ロータリークラブの基本方針は

## 「希望は私たちの原動力」

~地域に明るい活力を広げよう~

## 閉会・点鐘

[川口会長]

# 社会奉什

公共事業を数々実施しているにせよ、ほとんど 実施していないにせよ、ロータリーが役に立つこ とのできる大きな独自の分野があるのは明らか です。

ポールハリス語録

私たちの血管に赤い血が流れているように、地 元地域社会の幸福に無関心ではいられないし、 活動領域内にいる人々のために力を貸すのをい とわない、というのは至極もっともなことです。

